

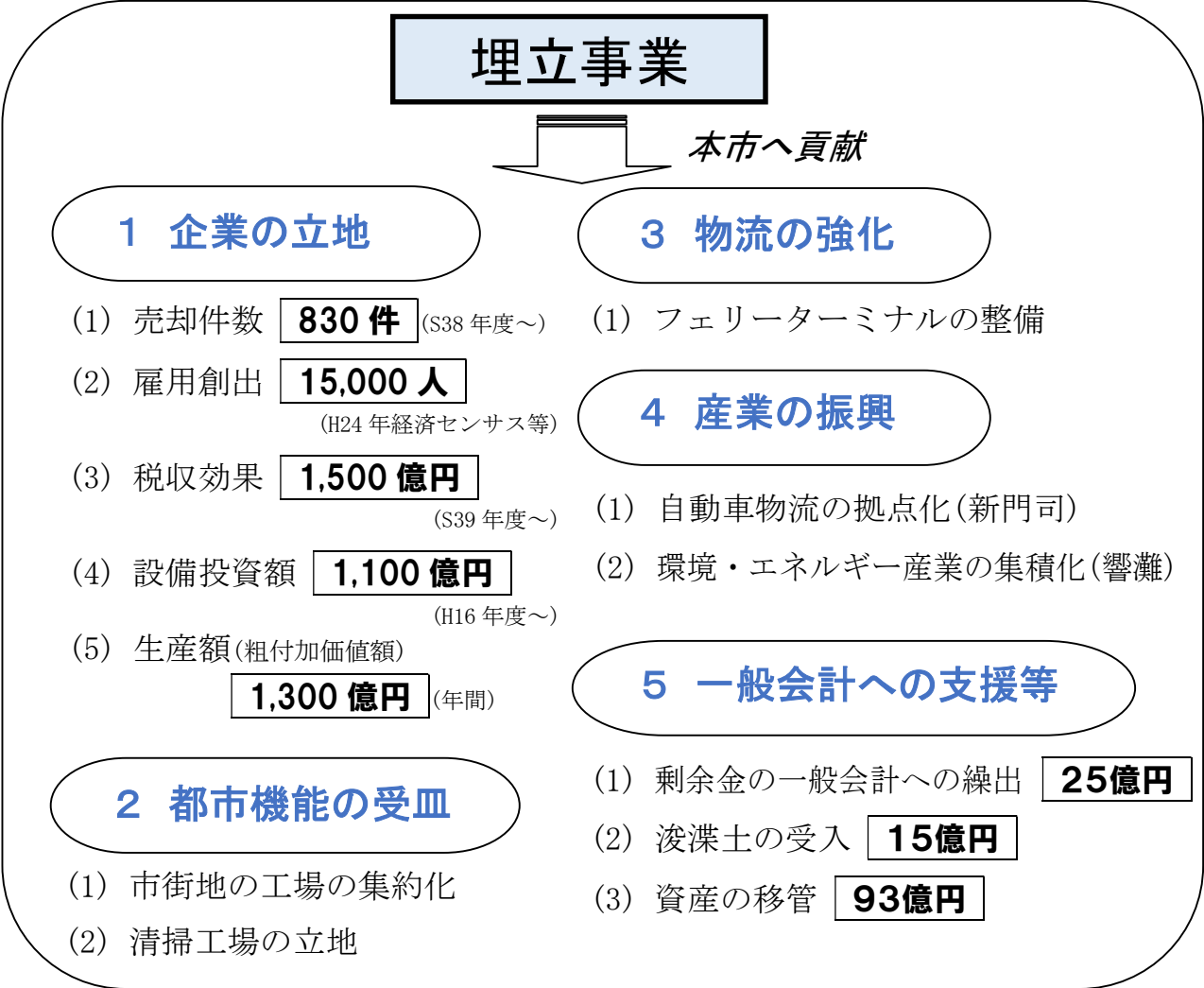
# 港湾整備特別会計(埋立事業)の本市への貢献

## 港湾整備特別会計の沿革

港湾整備特別会計は、昭和49年4月の北九州市港湾局発足時に北九州港管理組合から引き継いだ会計で、当時、埋立事業を受け持つ「埋立地造成特別会計」と、機能施設事業を受け持つ「上屋荷役機械等特別会計」に分かれていたが、昭和60年4月に両会計を統合して創設した。

このうち、埋立事業については、新門司、響灘などの大規模な臨海型分譲地を整備してきた。

埋立事業は、本市の経済活動の基盤として、今日までの本市の発展に大きく寄与しただけでなく、多くの企業立地による新たな雇用の創出や税収効果を本市にもたらしてきた。



# 1 企業の立地

## ○ 企業への売却件数

**830件** (S38年度～)

## ○ 企業立地による雇用の創出

**15,000人** (H24年経済センサス等)

※市全体の従業者(44万人)の 3.4% を占める。

## ○ 立地企業の税収効果

**1,500億円** (S39年度～)

※ 福祉、教育及び都市基盤の整備等の市民サービスの向上のための貴重な財源になっている。

## ○ 立地企業の設備投資額

**1,100億円** (H16年度～)

## ○ 立地企業の生産額

(粗付加価値額)

**1,300億円** (年間)



在来貨物



荷役を待つジャンボタイヤ



荷役を待つ完成自動車

## 2 都市機能の受皿

### ○ 市街地の工場の集約化

住工分離を推進するため、市街地に立地する工場の移転用地として臨海工業用地を造成した。

造成地には、多くの企業が移転し、市街地の都市環境及び都市機能の改善が図れた。



住工混在地区の一例  
(昭和40年頃の現八幡西区黒崎周辺)

### ○ 清掃工場の立地

都市機能施設の受皿として、新門司の埋立地に清掃工場(新門司工場)が立地した。



新門司工場

## 3 物流の強化

### ○ 西日本最大級のフェリーターミナルの整備

現在、新門司に就航する長距離フェリー3社のうち2社が、当初は小倉発着であったが、関門海峡を大型フェリーが通航することは、高度の安全性が要求されるとともに、当時の施設がフェリーの大型化に対応することも困難となった。

このため、フェリーの安全性の確保、大型化への対応、輸送距離・時間距離の短縮によるエネルギー削減を考慮して、新門司地区にフェリー基地を集約化することとし、平成3年に西日本最大級の新門司フェリーターミナルが供用開始した。

※ 新門司の南北の埋立地により、静穏な海域が確保され、フェリーターミナルの整備が可能となった。



新門司フェリーターミナル

## 4 産業の振興

### ○ 自動車物流の拠点化(新門司地区)

トヨタ新門司物流センターは、平成 16 年より完成車の積み出しをする西日本最大の物流基地(面積：18 ha)として活用されている。

そのほか、充実した港湾インフラと広大な産業用地を活用し、ECLエージェンシーをはじめとする中古車の輸出事業者の進出も相次いでおり、自動車物流の拠点化が急速に進んでいる。



トヨタ新門司物流センター

### ○ 風力発電産業をはじめとした環境・エネルギー産業の集積化(響灘地区)

#### (1) 風力発電

風車の積み出しからメンテナンスまであらゆる機能が揃う風力発電の総合拠点化を目指し、産業の裾野の広い風力関連産業の集積を推進する。

平成 27 年度は、洋上風力発電事業者の公募を行う予定。



響灘風力発電施設

#### (2) バイオマス発電

日本最大級の「バイオマス燃料集配基地」の進出が決定し、平成 29 年度より稼動する予定。

投資額：約 30 億円、雇用者数：約 50 人



## 5 一般会計への支援等

### ○ 埋立事業剰余金を一般会計へ繰出

- (1) 25億円(昭和49年度から昭和51年度)

### ○ 航路、泊地等の港湾工事(一般会計)で発生する浚渫土を無償で受入

- (1) 新門司北地区では、昭和56年度から平成26年度迄において600万 $m^3$ を受入、一般会計の整備費を15億円削減した。



浚渫作業

### ○ 埋立事業の廃止に伴い、分譲地以外で一般会計へ移管する資産

- (1) 貸付地 30ha 資産価値：27億円

- ① 埋立事業廃止後、一般会計において毎年、7千万円の土地貸付収入が収納される予定。

- (2) 緑地の底地 20ha 資産価値：66億円

- ① 一般会計が、埋立事業の土地を活用(無償)し、緑地を整備している。  
② これらの緑地については、広く、一般市民が利用している。

#### 【埋立事業で底地を造成した緑地の例】



響灘北緑地

風力発電の風車を眺めることができる緑地や遊歩道が整備され、散策、ジョキングなどに利用されている。

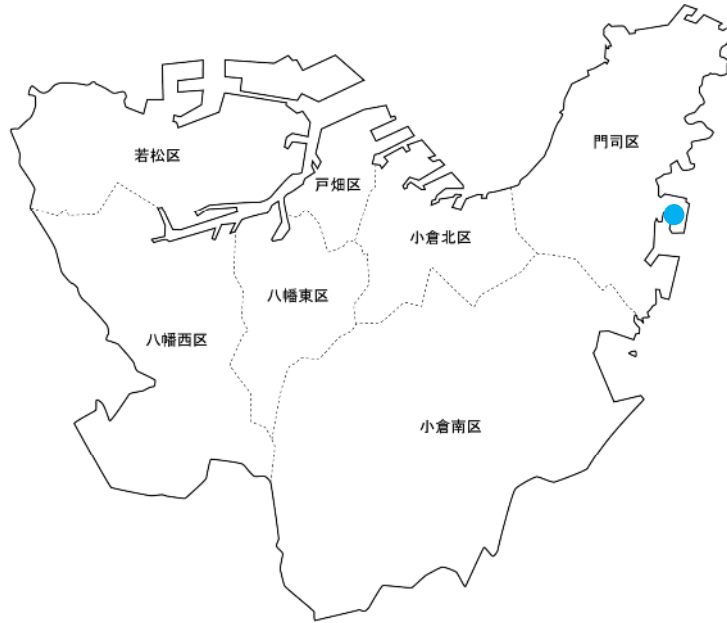


若松南海岸通り

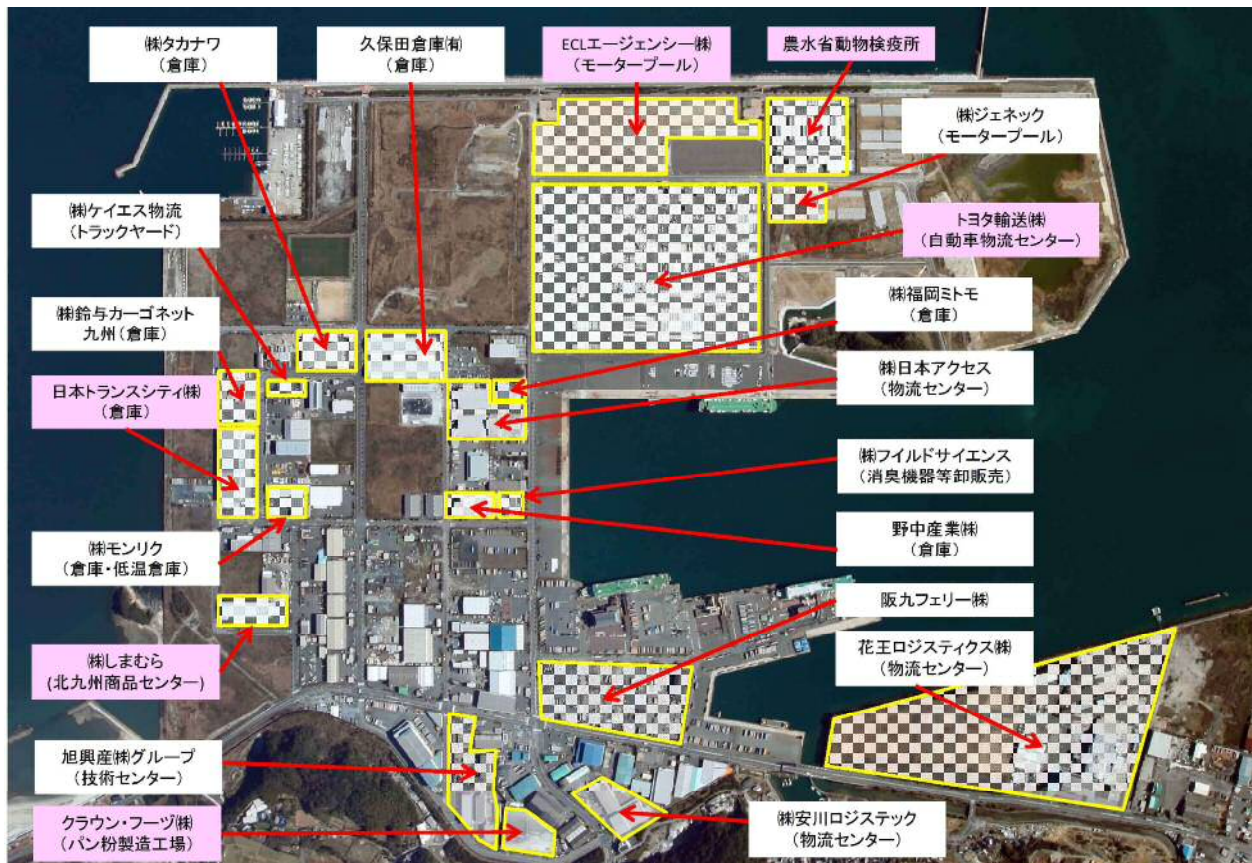
遊歩道が整備され、洞海湾の眺めや港町の風情、歴史的建築物などを楽しみながら散歩ができる。

# 参考1

## 新門司北地区の主な立地企業



= 次頁以降に会社概要等有  
 ※他地区も同じ



## クラウン・フーズ(株)



事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パン粉製造の工場単体としては日本一の規模</li> <li>・パン粉、ピザの製造工場</li> <li>・原料の小麦粉を保管するサイロ 20 トン×8 基有</li> </ul>
申込年月日	H2.1.8
売却面積	24,300 m <sup>2</sup>
売却金額	土地開発公社より売却
業 種	製造
本社住所	北九州市門司区新門司北 1-3-9
資 本 金	5,000 万円

## (株)しまむら



北九州商品センター 事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内衣料品チェーンストア業界第2位</li> <li>・自社運営の物流センターを築く</li> <li>・中国からの輸入を直賃に移行しており、輸入はすべて神戸港であげている。</li> <li>・H26年度、敷地内拡張済</li> </ul>
契約年月日	H7.1.13
売却面積	9,503 m <sup>2</sup>
売却金額	5 億 6,643 万円
業 種	小売
本社住所	北九州市門司区新門司北 1-3-9
資 本 金	5,000 万円

## 日本トランスシティ(株)



### 新門司 事業概要

- ・創業明治 28 年の業界 4 位を誇る中部地区最大の物流会社
- ・関東、中部、関西を中心に、北海道、九州まで日本列島を網羅し、さらにアメリカ、タイ、シンガポール、中国など、海外へ進出
- ・子会社の「九州シティフレイト(株)」も新門司に立地

契約年月日	H7.6.26
売却面積	16,528 m <sup>2</sup>
売却金額	9 億 8,512 万円
業 種	物流
本社住所	三重県四日市市千歳町 6 番地の 6
資 本 金	84 億 28 百万円

## 農林水産省動物検疫所



### 門司支所 新門司 検疫場 事業概要

- ・動物検疫は、動物の病気の侵入を防止するため、世界各国で行われている検疫制度
- ・5 棟の畜舎、管理人専用棟、管理棟、資料棟及び消毒設備
- ・1,500 頭の肥育用素牛が収容可能

契約年月日	H15.6.30
売却面積	3ha
売却金額	12 億円
業 種	公共
本所住所	神奈川県横浜市磯子区原町 11-1
資 本 金	



## トヨタ輸送(株)



新門司自動車物流センター  
事業概要

- ・西日本最大規模の総合的な自動車物流センター
- ・自動車物流における海上輸送の効率化及び国内自動車メーカーの共同輸送を実現する。
- ・蔵置能力は完成車 6,000 台、自動車部品搬送用トレーラー630台

契約年月日 H16.4.9~H17.4.1

売却面積 181,354 m<sup>2</sup>

売却金額 53 億 7,318 万円 ※臨海部産業用地貸付特別会計を活用

業 種 物流

本社住所 愛知県豊田市元町 2 番地

資本金 12 億円

## ECL エージェンシー(株)



新門司ターミナル  
事業概要

- ・年間約 4 万台を取り扱う能力を持つ中古車物流センター
- ・全国に配置した中古車両・中古建設機械などの輸出ターミナルを利用した、輸出中古事業者向け各種サービス事業
- ・蔵置能力中古車約 4,500 台

契約年月日 H26.2.28

売却面積 60,853 m<sup>2</sup>

売却金額 15 億 7,001 万円 ※臨海部産業用地貸付特別会計を活用

業 種 物流

本社住所 東京都中央区日本橋 2-15-3  
ヒューリック江戸橋ビ 5 階

資本金 9,500 万円